

R6 スポーツ科学科修学旅行文集



○担任から

保護者の皆様のご協力の下、12月3日から7日までの4泊5日で沖縄へ行って参りました。

生徒たちはスキューバダイビングをはじめ、様々なことを見、聞き、嗅ぎ、触れ、味わうことで多くの経験を得ることができました。また、新たなことにチャレンジすることの難しさと楽しさを学ぶことができたと感じています。なにより、大きな怪我も無く、無事帰ってくることができたのが一番です。

3学年も目の前になってきました。この経験を糧として、自分の進路に向けて頑張らせたいと思いますので、今後ともよろしく願いいたします。

スポーツ科学科2学年担任 逢坂 颯



スキューバダイビングでは、普段は体験出来ないような海の中の活動を行い、マスククリアや耳抜きなどの活動ができるようになりました。最初は慣れるまで大変だったけど慣れてから余裕を持って海の中を見れるようになり普段は見れない海のなかの世界を散策することができました。テレビの中でしかみたこと無い魚などと一緒に泳ぐことができました。また、資格も取ることが出来たので今後沖縄に機会があったらこの海で学んだことを生かしたいと思います。首里城は琉球王国の政治の中心であり、厳かな雰囲気でした。

御菓子御殿では最初、沖縄で有名なソーキそばを食べました。普段食べている物とは全然違い、新鮮でした。特に肉がいつも食べている物とは違う新感覚な物でした。とてもおいしかったです。食事が終わってから御菓子御殿に行きそこでみんなのお土産を選びました。沖縄ならではのちんすこうや紅芋タルトなどを買って帰ることができました。また、自分用にTシャツやお菓子などのお土産を買いました。良かったです。



美ら海水族館



美ら海水族館では私達が前日まで一緒に泳いでいた魚やジンベイザメやエイなどの一緒に泳げなかった魚が多くいました。館内はとても広く、ロコミサイトにもあったようにとても感動し、忘れられない景色となりました。魚たちが優雅に泳いでいる姿にとっても心奪われました。お土産コーナーはとても混んでおりレジに並ぶのに30分はかかりました。沖縄は普段あまり行かない県なので見れて良かったなと思いました。

修学旅行を通して



修学旅行全般では、普段の生活では使わない、学ばないことを学ぶことができたので良かったです。いつか海に潜ることがあったら今回学んで取得したスキューバの経験を活かして泳ぎたいと思います。また今回の修学旅行では、時間を守って行動することができなかったのでしっかり時間厳守の生活を心がけたいと思いました。今後の生活は、今回の修学旅行を活かして成長したいと思います

1A 田中雅姫 立花美優 高橋こと葉 土橋楓華 小笠原千恵

私たちの食べた物

1日目の夕食はタコライス、マカロニサラダでした。タコライスには、白米の上にレタス、ひき肉、トマトがのっていました。味はスパイシーでその中にチーズのまろやかさがありとても美味しかったです。



朝食は、バイキング式で自分の食べられる分、大皿からとって食べました。パンにハムやサーモンなどを挟んでサンドイッチにして食べました。私のイチ押しは、マンゴージュースです。健康的で、とても美味しかったです。



4日目の昼食は沖縄料理御殿(うどん)で食べました。

【メニュー】ソーキそば、五目ご飯、紅芋の揚げ物、
大根の漬物、もずく、紅芋タルト

ソーキそばは、優しい味で東日本よりは味が薄かったと思いました。麺は、弾力があり思ったより細麺で、お肉は少し甘いと感じました。

紅芋の揚げ物は、紅芋そのものの甘さがありサクサクしていてとても美味しかったです。



4日目の夕食はステーキハウス88で食べました。

【メニュー】特上サーロインステーキ×2、

88 特選赤肉ステーキ、カットステーキ、海ぶどう×4

私たちは沖縄県で有名なお店で美味しそうなステーキを食べました。学生グループメニューの全てのステーキには、スープバー・サラダバー・ライスバーが付きましたが、ドリンクバーは別料金でした。ステーキは、言葉が出ないくらい美味しかったです。美味し過ぎてステーキは一瞬で無くなりました。初めて海ぶどうを食べた感想は、プチプチではなかったけど面白い食感でした。

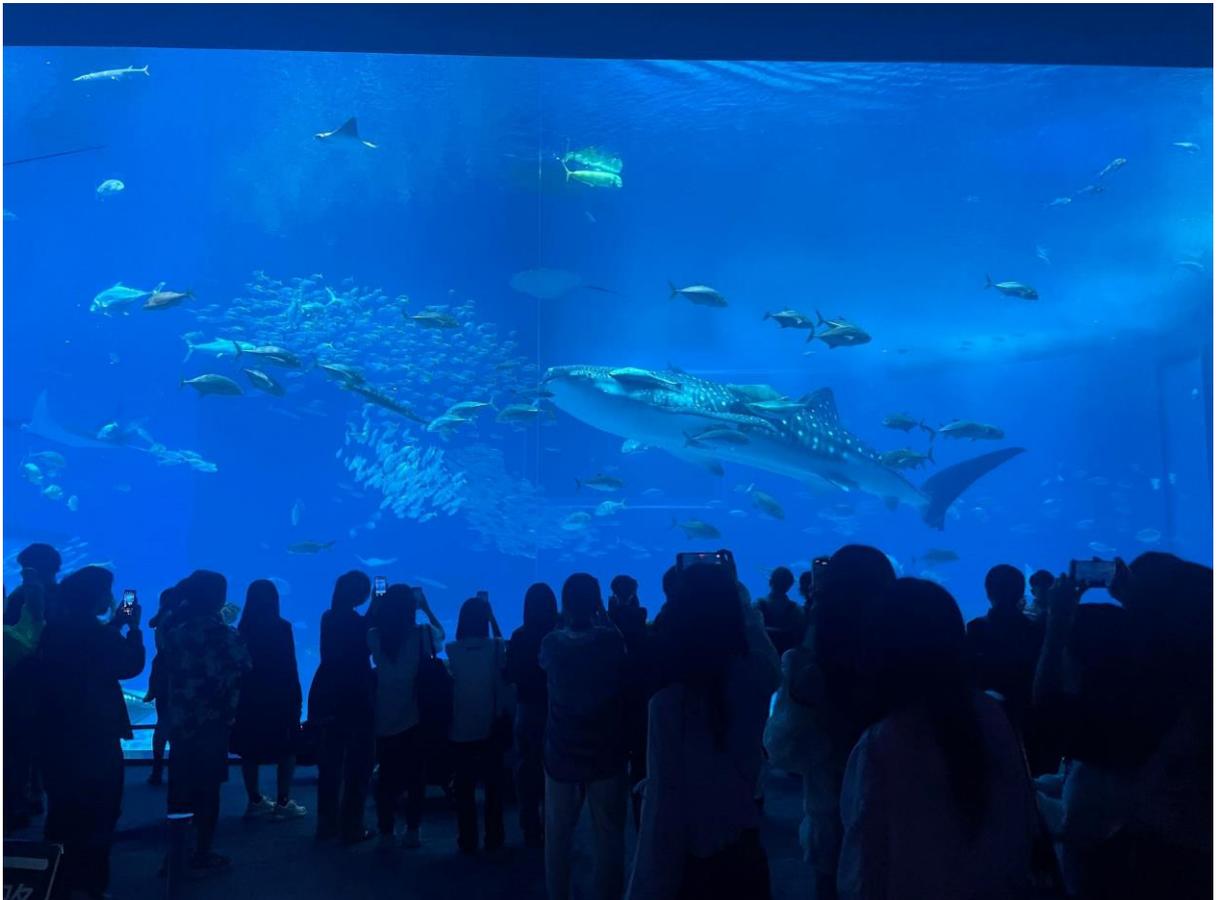


〈メンバー〉

畑中遥菜、昆咲花、卯月穂乃咲、小笠原彩

美ら海水族館

美ら海水族館はジンベイザメがいることが有名でとても楽しみにして行きました。ジンベイザメがいる大きい水槽の前に行ってすごくて圧巻されました。初めてマナティーも見れて可愛かったです。お土産屋さんにも多くの人が入ってレジまで行くのに15分くらいかかって、カゴを前にもったりして人に迷惑をかけないように動くことができました。水族館でも沖縄の綺麗奈海を上から見ることができました。



国際通り

国際通りは時間が無くてご飯を食べ、お土産屋さんを何軒か回ることしかできませんでした。ホテルを出て国際通りに行くまで道がわからなくて20分くらいかかりました。八戸は12月になると寒くなり、街などの人通りの多い所は夏に比べて人が少なくなるような気がします。沖繩は12月でも暑く、沢山の人が居て沖繩ならではの夜の街並みだと思いました。海ぶどう専門展に行きました。お店の人が優しくて色々な話をしてくれてもずくや海ぶどうを試食させてくれました。とても美味しかったです。



スキューバダイビング

海の中はとても平和に感じました。初めての体験で、呼吸困難になりかけたりしましたが、意外とすぐに慣れることができました。とても綺麗な魚たちをたくさん見ることができて楽しかったです。特にカクレマノミがとても神秘的でした。また泳ぎたいです。



アブチラガマ

アブチラガマでは戦争時の生々しい話を聞きました。当時のことを想像するととても胸が痛かったです。洞窟の中はとても蒸し暑くて滑りやすく暗くて歩くのすら大変でした。しかし、一月でもこんなに暑いのに戦争時は真夏だったことから想像のつかないほどの暑さだったと感じました。井戸の小ささには驚きを感じました。この井戸を求めて力を振り絞ったという話が印象に残りました。



修学旅行まとめ

3A 二又楓太 高野廉 澤田龍成 向平悠介

私たちは 12 月 3 日から 7 日まで沖縄へ修学旅行に行ってきました。私たちはこの修学旅行でスキューバダイビングの資格を取りました。実際に海で泳ぐことは初めてだったので少し不安と緊張がありましたが、39 人中 38 人実技筆記ともに合格することができました。そこでスキューバダイビングでの出来事を写真と共に話していきたいと思います。



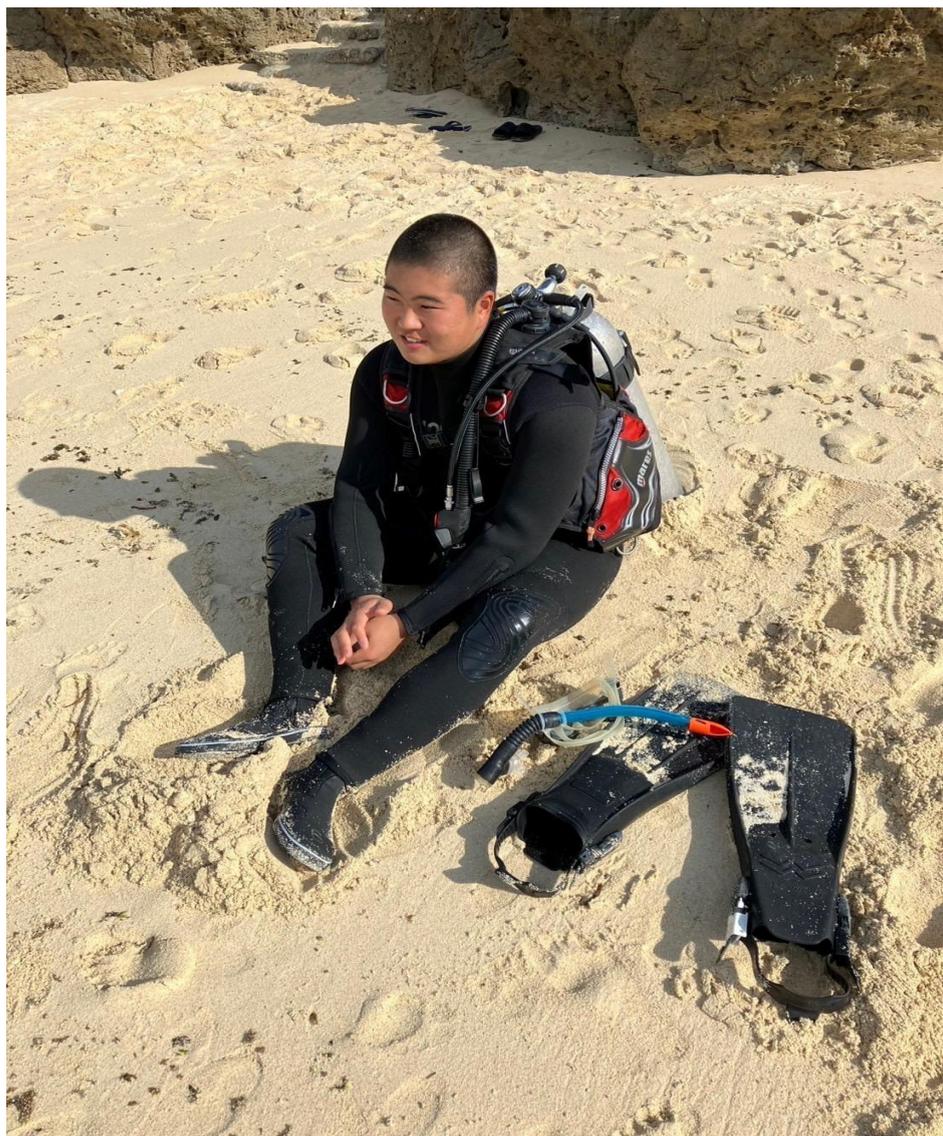
スキューバダイビング後の様子です。

スキューバ初日は水深 2m の沖で行いました。BCD に空気を出し入れして浮上・潜降すること、バディがエア切れした時の対処法などを学びました。水深 2m まで潜ると耳が圧迫され耳抜きが必要でした。事前にプール実習で練習していたので難なくできました。また、バディがエア切れした時の対処法ではレギュレーターという空気を吸うところを口からはずさなければならぬと少し怖かったです。初めて海で泳いで溺れかける人もいましたが、なんとかみんな帰還することができました。初めて見る沖縄の海は透き通っていてとても綺麗でした。



水深 10m の写真です

2日目のスキューバはボートで水深 10m あるところまでいきました。1日目とは違い水深が深かったのでこまめに耳抜きが必要でした。ここで苦戦する人が多くいましたがインストラクターのサポートがありクリアしていきました。水深 10m まで潜るとサンゴ礁やカクレクマノミ、なまこもいました。どれもまじかで見ても触れ合うことは初めてだったのでみんな楽しそうにしていました。また、2日目は筆記テストがありました。1日目に、テストに出るところをマークして夜や休憩時間に班のみんなと確認しました。勉強のおかげで全員 80 点以上取り合格できました。合格した後のバーベキューはとても美味しかったです。スキューバは水圧の影響でご飯をたくさん食べれないのでそのぶん美味しく感じました。



思ったように潜れなくて悲しむ敦賀君

なかには怖くて潜るのに時間がかかった人もいました。敦賀君は1日目潜ることが怖くて海に潜ることが出来ませんでした。敦賀君はインストラクターとマンツーマンで特別講座をしたあと、夜に部屋でイメージトレーニングをして潜れるように頑張っていました。2日目敦賀君は怖いという感情を克服して、水深10mあるところまで潜ることが出来ました。自分で自分の限界を決めないということを学びました。

後輩たちへアドバイス

インストラクターの言う通りにし、修学旅行前に貰うスキューバの教科書を見た通りにやれば楽しむことが出来ます。また、海に出るとプールとは違う感覚に見舞われるかもしれませんが、焦らず、恐怖心を殺して楽しんで来い！

美ら海水族館



今回の修学旅行では美ら海水族館に行った。サンゴやマンタなどの沖縄などの南側の地域でしか見られない海の生き物がたくさんいました。



自分が特に見て感動したのはジンベイザメでした。初めて目にしたっていうのもあってその大きさと迫力に圧倒されました。またジンベイザメが入っていた水槽も他の水族館では見られないようなサイズ感でそこにも感動しました。普段見られない魚とか生き物を見られてよかったです！

首里城見学



今回首里城の見学をしてガイドさんからたくさんの情報を聞く事ができました。首里城とは、沖縄の歴史・文化を象徴するものであって、作りは、曲線を作るように城壁で取り囲まれていて、その中に多くの施設が建てられています。ガイドさんの説明を聞いて、首里城について詳しく知る事ができました。首里城は現在、復興中ですが、歴史的な景色が見えて、とても文化を感じられました。



この建物は、本殿に入る前の入り口です。実際に見てみると迫力があり、復興中でありながらも、完成が待ち遠しく感じてしまうほど本殿の凄さを知る事ができました。このように首里城ではたくさんの歴史を知って、ガイドさんの説明を聞くことで自然と首里城の歴史の凄さを知る事ができたので、自分は首里城がおすすめの場所だと思いました。

スキューバダイビング

スキューバダイビングをやってみてレギュレータを使って呼吸するのは陸で普通に呼吸するのとは感覚が違いました。沖縄の海は透き通っていて魚もたくさんいてきれいでした。ダイビングをするうえで難しかったのは器材の名前を覚えたり準備したりすることとゴーグルの中に水が入った時に行うマスククリアが難しかったです。ダイビングの指導者の話をしっかり聞いて楽しくダイビングをすることができ良い思い出になりました。ダイビングの講習では器材の説明や水中でのマナーを学び講師の人の話を聞きテストに出そうなところを復習しました。



琉球村



琉球村国に登録された有形文化財の古民家が立ち並び、今も生き続けている 450 年続いた琉球の名残です。三線とエイサーの音が響き渡り、不思議な沖縄料理や伝統工芸は旅の思い出になりました。

琉球村では水牛の「ダイちゃん」を見たり、エイサーを間近で見て一緒に体験したりしました。琉球村は沖縄ならではの体験がたくさんできるのでとても楽しむことが出来ました。次、行くときはシーサー作り体験をしたいです。

B1. 田端 賢汰 後藤 愛翔 中塚 虎羽 梅田 大洋 中野 鷺



沖縄にいき人生初のスキューバダイビングをしました。初めは、怖さや不安などがありましたがいざやってみると意外とできました。沖縄の海の中はとても綺麗で、魚やナマコなどたくさんの生物がおりとても楽しかったです。また、僕たちの代が何年かぶりにボートからのダイビングをしました。最初から足のつかないところからのスタートなのでちょっと不安だったりしたけど、やってみると海の中が綺麗でビーチからよりもたくさんの魚がいて不安など忘れてとても楽しむことができました。



左の写真はアブチラガマに行った時の石碑に水をかけている所です。なぜ水をかけているのかというと当時のアブチラガマの人たちは井戸の水によって命が救われたのでかけています。アブチラガマへ行って、改めて戦争の悲惨さを学び、二度と戦争が起きないようにしなければいけないと感じました。アブチラガマの中ではたくさんの方が亡くなりました。その中には苦しみながら亡くなった人がたくさんいます。今幸せに生きていることに感謝しようと思いました。また、戦争があってアブチラガマで起きたことを受け継いでいきたいと思います。



沖縄 trip

美ら海水族館美ら海水族館では、大きな水族館でかなり多くの魚がいて、見たことのない魚ばかりでした。ひかる魚や、小さい魚、何十メートルのあるイカの剥製、などたくさんいました。1番びっくりしたのはジンベエザメです。大きな水槽の中で泳いでいるジンベエザメは大迫力ですごく興奮しました。驚きの連続でいい経験をしたと思います。



一番思い出に残っているのは国際通り観光です。18時から21時くらいの3時間自由に観光しました。上の写真に写ってる5人で回りました。国際通りは八戸とは違うところがたくさんありました。まず色んな国の人がありました。外国人が多かったです。それと暑いので軽装の人がいました。八戸では12月は厚着なのでびっくりしました。国際通りには沖縄県産のものがたくさんあり、沖縄ならではのものがありました。沖縄にしかないA&Wというハンバーガー屋さんがありました。そこでご飯を食べて、みんなでA&Wのキャップを買いました。それが一番の思い出になりました。



これも国際通りの写真です。八戸にはこのようなものがないので興奮しました。国際通りにはオリオンのグッズやシーサーが売ってる店、海ぶどうやちんすこうが売ってる店など沖縄にしかない店が沢山あり、飽きませんでした。みんなで楽しめ、事故もなくいい経験ができました。



沖縄 trip 首里城

首里城に行きました。首里城では30分と短い中ガイドの人のお話を聞くことができとても充実した時間になりました。

写真に写っている門は幸福門と言います。

「広福(こうふく)」とは、「福を行き渡らせる」という意味であります。「広福門(こうふくもん)」は別名「長御門(ながうじょう)」といい、第四の門であります。建物そのものが門の機能もっており、この形式も首里城の城門の特徴であります。首里城に行き沖縄の歴史である城を生で見ることができとてもいい経験となりました。琉球のことを知ることができとてもたのしかったです。

人生最後の修学旅行 inOKINAWA

B2 班 種市夏陽、川崎耀瑛、小谷地心、和田良太郎、福山颯汰

スキューバダイビング



僕たちは、スキューバダイビングを初めてやりました。もの凄くワクワクすると共に少し恐怖心や不安を感じていました。ですが、実際に潜ってみるとすごく楽しくて海に入っている時間が短く感じました。ウェットスーツを着て酸素ポンペを背負い海に潜ることは普通の高校生では経験することのない貴重な体験だと思います。海の中はまるで別世界のようなもの凄く神秘的でもっと長い時間を潜っていたと思え、機会があればまた沖縄の透き通った穏やかな美しい海の中を自由に潜ってもっと深くまで行きたいです。

美ら海水族館



僕たちは修学旅行4日目に、沖縄県国頭郡本部町にある美ら海水族館に行きました。美ら海水族館では前日まで実際に海の中で見ていた色鮮やかな魚や大水槽にはとってとても大きなジンベイザメなど青森県ではなかなか見ることのできない水中の世界を間近で見ることができました。水族館の外には、ウミガメやマナティ、イルカなど水族館の中とはまた違った世界が広がっていてまた違った角度で美ら海水族館を楽しむことができます。様々な海の生き物に触れ合うことができとても良い体験をすることができたので沖縄に行く機会があればまたじっくり見ていきたいと思います！

お菓子御殿



御菓子御殿では僕は人生で初めてソーキそばを食べました。ソーキそばはさっぱりとしてとても美味しく、特にそのそばに入っていたお肉がとてもおいしかったです。また、その食事の時のデザートとしてあった紅芋タルトというお菓子を食べてもの凄く美味しいと思い、そのタルトをたくさん買ってしまいました。店の雰囲気も沖縄を感じさせる作りになっていてすごく楽しかったです。

おきなわワールド



おきなわワールドで最初にぼくは鍾乳洞に入りました。鍾乳洞の中はとにかく蒸し暑く、足場もゴツゴツとして悪く身体的には疲れましたがそれ以上に自然からできた鍾乳洞はとてもうつくしかったです。一つ一つの岩の躍動感やその岩の下を流れる水氷柱のように岩がものすごい数あり、圧倒されたのを今でも覚えています。特徴的な鍾乳洞にはそれに名前が付けられており、銀柱や青の泉、銀河街道など自然の美しさを心身ともに体験することができました。また、沖縄の伝統的なエイサーショーも生で見ることができてとても良い思い出になりました。エイサーショーは沖縄でしか見たことのない楽器を奏でていてそのリズムに合わせてシーサーが踊っている姿はもの凄く迫力があり見ていてとても楽しかったです。

糸数アブチラガマ



僕はこの糸数アブチラガマに入る前にガイドさんの話を聞いて心が締め付けられるように感じました。それは、その戦争に対する悲痛な思い、戦争によって奪われた尊い命などのたくさんの想いが伝わってきたからだと思います。アブチラガマに入る前の入り口では自分の中では空気が一段も重くなったように感じました。アブチラガマに入ってから部屋ごとにその部屋で戦争中の何が行われてきて、どのような環境だったかを知りました。アブチラガマで行われていたことは今の生活では考えられないことばかりで当時の人たちの思い、状況、実際に聞いた声、見たものを想像するだけで胸が苦しいです。今こうして立っていること、普通に生活することがものすごい幸せなことなんだということを感じました。もう二度とこのような戦争が起きないことを祈りたいです。

国際通り

お土産ショップに行き御菓子御殿や美ら海水族館にはないような面白いお土産を買うことができました。海ぶどうの試食を食べました。プチプチしていてとても美味しかったです。あまりのおいしさに購入しました。夕食は沖縄で有名な A & W というハンバーガーショップに行きました。個人的にはマクドナルドよりも美味しかったです。青森県にも展開してほしいなと思いました。国際通りには至る所にシーサーがいて沖縄にとってシーサーはとても重要なものなのだと思います。楽しかったです。

3B

沖縄修学旅行

1日目



12/3 に八戸から東京駅モノレールなどを乗り継ぎ羽田空港で飛行機に乗り沖縄まで向かいました。初めての空の旅でとても新鮮な気持ちで片道2時間で沖縄に着く事ができました。羽田空港では自由行動があり八戸とは違う様々な店ががあり地元との格差をととても感じました。沖縄に着いた時にはとても暖かく行きで着て行ったブレザーが要らないほど気温が高く寒暖差に驚かせられました。夜もそんなに寒くなく半袖短パンで寝る事ができました。

2日目



2日目では修学旅行の最大の目的であるスキューバが始まりました。最初はビーチエントリーと言って沖からシュノーケルやフィンを履いて海の中で泳ぐ練習や実際にBCD、酸素タンクなどを背負いレギュレーターを使い呼吸の仕方をし実際に海の中を泳ぎました、海の中はとても寒く魚などはあまりいませんでしたがそれ以外の生物は少しだけ目にする事ができました。午後では筆記テストに向け3時間インストラクターによる講習を受けました内容はとても難しく受かるかと心配になりましたが受かると信じて講習中は寝ずにしっかりと覚えておくポイントを覚えました。初めてのダイビングをしたせいかいつもより疲労感が凄まじくすぐに寝てしまいました。

3日目



昨日より天候が良く波もだいぶ良くなっていたため、ビーチエントリーではなくポートエントリーで潜水しました。ポートで5分ほど走ったところから船の上でBCDなど備品を準備したり着用して後ろ向きで落ちて海の中に入りました、1回目はとても恐怖感がありましたが2回目では恐怖心がなくなり逆にそのスリルがわくわくさせてくれました。前回は5メートルまでしか潜りませんでした。今回は10メートルまでもぐり、マスククリアやオクトパスを実際に使ってみたりバディと協力して浮上する練習などをしました。前回と違った所は魚が沢山いる事でした。今まで見たことの無い魚やカクレクマノミなど映像や水族館で見た事がある魚を初めてマジかで見ることができ、スキューバダイビングが最終日にして楽しくなりました、海の神秘さに気づかれました。午後は筆記テストがあり無事全員合格することができました。



その日の夜はホテルでバーベキューをする事ができました。39人だと沢山あった食べ物がすぐになくなってしまい物足りなかったです。初日ではしっかり合格できるか親からも連絡が来てたぐらいとても心配していましたがインストラクターの方が一からとても丁寧に説明してくれたお陰でスキューバーダイビングという素敵なマリンスポーツに出会う事ができました。また様々な生物が見られたりなど貴重な体験をする事ができ充実した2日間でした。残りの3日も充実したものにしたいです。

4日目

4日目では、美ら海水族館・糸数壕・御菓子御殿・国際通り、沖縄らしいところにやっと思行く事ができました。



美ら海水族館では物凄く大きい水槽にジンベイザメやマンタ、光る魚など青森のマリエントや浅虫などでは見れない沖縄特有の魚などの生物を見る事ができ青森と沖縄の。差を感じました。



その日の夜は国際通りでの自由行動でそこでお土産など買う事ができました。八戸の中心街とは天と地の差で人もこっちの祭りぐらいの人が常におり、出店や飲食店などもこっちは比べ物にならないぐらいものすごい数の建物がおり、とても明るく栄えていました。良いところだけではなく、街を歩いていると至る所にキャッチの人が立っておりどう考えても怪しい店がちらほらあり、キャッチされ、店に入ってみるととても小さいステーキで1100円とやはり思った通りぼったくられ、キャッチの怖さを知る事ができました。持ってきたお金はほぼ全て国際通りで使い果たした人が多く国際通りが主な観光地になる理由を理解する事が出来ました。

5 日目(最終日)



楽しかった 4 泊 5 日も最終日になりました。

5 日目は沖縄のとても有名な場所首里城を見る事が出来ました。首里城はまだ完成されていませんでしたが、首里城の壁の外から見る景色はとても良く綺麗でした。

当時の沖縄の歴史や中学校の頃教科書で見た城が目の前にあり思ってた以上に大きくまた、安全祈願などの効果があるパワースポットも首里城内にありました。

5 日目の沖縄修学旅行を通して仲間と協力する事や学ぶ事、初めての体験が多く非日常的で笑顔が絶えない旅行でした。

◎松村快湊

○中村心人

○松澤侑雅

○成田煌

修学旅行 *in* 沖縄 □ □

B4 班 中村龍澄 二又柗太 敦賀伊吹 中村凌嘉 高淵柗汰



1日目 青森□→東京□→沖縄□



1日目は移動がメインでした。八戸駅から東京駅まで行き、電車で浜松町に、そしてモノレールに乗り、羽田空港から飛行機に乗って沖縄に到着しました。はじめて飛行機に乗る人も多くワクワクしながら出発しました。飛行機からの景色はとても綺麗でした。

2日目 スキューバーダイビング実習 1日目



ビーチまで歩いて移動しています。スーツが暑くて汗だくです。



実習初日はビーチエントリーでした。初めて海に潜るので最初はシュノーケルを使って潜った時は難しく水がたくさん入ってきましたがだんだん慣れていきました。その後ポンベを使って潜りましたが、呼吸がシュノーケルよりもしやすく上手く潜ることができました。魚もたくさん見ることができ、沖縄の海を楽しむことができました。



まだまだ動けます□



この状態では息ができません。しっかり啜えましょう。

3日目スキューバダイビング実習2日目



修学旅行2日目、3日目はスキューバダイビングをしました。海がとても綺麗で顔を水面につけただけで魚を見る事が出来ました。最初は怖かったです但慣れてきたら深くまで潜れるようになりました。筆記テストも無事みんな合格できたので良かったです。



美ら海水族館では2日目と3日目で行ったダイビングで見た魚も見ることができました。
大きい水槽にはジンベイザメやエイもいて、とても迫力がありました。



最終日は首里城に行きました。朱色のお城では見る事が出来ませんでした、立派なお城でした。



感想

今回自分は修学旅行で沖縄県に行ってきました。修学旅行ではスキューバダイビングのライセンス取得や沖縄県の自主研修などを主にしてきました。初日は大体が移動でとても疲れるところもあったのですが、初めての飛行機など色々新しい経験もする事ができました。人生初の飛行機ということもあり、少し怖い感じもあったのですがいざ出発してみると、ジェットコースターに似た感じがあり楽しかったです。

2日目からは、スキューバダイビングの練習を始めて、午前は講習を受け、午後は主に海に出て泳ぐ練習や、ダイビングに必要な機材などをつけて潜ったりしました。特に難しかったのは、シュノーケルで息をするので、シュノーケルの中に水が入ったせいで呼吸困難にもなりかけたりしてとても怖い思いもしました。しかし海の中に入った方が怖くなく、また波も無いため海中の方が楽に泳いだりすることが出来ました。3日目も、2日目と同じ流れで午前は講習を受けてその後テストを受けました。午後は沖に出て2日目よりも深いところでダイビングをしました。3日目は大体5から6メートルくらいのところでダイビングをしたのですが、沖の方が魚が沢山いたり、沖の方が海水が透き通っていてとても綺麗でした。午後は2回ダイビングをしたのですが、最後の2回目でタンクの酸素がなくなるというハプニングもあり、溺れかけてしまったりして辛いところもあったのですが、最後まで頑張る事ができて良かったです。

4日目は、アプチラガマや自主研修など沖縄県を回ってきて沖縄について知ることが出来ました。最終日は、首里城に行ってきました。首里城はまだ完成していないのですが、建物などが日本と違って中国の文化などが混ざっていて面白い文化などがあると思いました。もし次沖縄に行く機会があったらまた首里城にも行きたいです。

感想自分は、ほとんどのことが初めてのことで、楽しかったです。沖縄では、12月なのにもかかわらず、とても暖かく、半袖で過ごせることが多く、とても快適でした。もちろん海の中も暖かく、魚が多くそいて、とてもキレイでした。沖縄は、全てが輝いていて、素敵なところでした。



感想

自分は、初めて沖縄へ行き、思っていたよりも湿度などの影響で暑く無くても汗をかいたりして、大変でした。スキューバでは、最初のシュノーケリングが上手くいかず、スキューバへの自信がなくなったりもしました。でも最後の方には、楽しくスキューバが出来ていたのが良かったです。また、首里城などで沖縄の歴史や文化などをたくさん学べて、初めてのことが多く修学旅行でした。